

男女共同参画専門人材設置事業【山梨県】

個別事業費	926 千円
交付金額	463 千円

地域の実情と課題

本県では「社会の幅広い分野で制度や仕組みに意見を反映できるリーダー的人材を育成していくこと」や「多様な視点や発想を取り入れることが出来るよう、地域における女性の参画を進めていくこと」が課題として挙げられ、県民等の主体的な取り組みを支援していく必要がある。

そのため、男女共同参画に深い知見を有する統括アドバイザー及び専門アドバイザーを複数配置し取り組みに対して多面的な相談対応や、より専門性を高めるための支援を行う。

事業の特徴

①統括アドバイザーによる交流サロン

萩原なつ子統括アドバイザーを講師に、公募による参加者や県内各地域に出向いて講演やワークショップによる「交流サロン」を実施。その場で出されたアイデアや具体的な提案に統括アドバイザーが助言を行い、参加者自らが地域での取り組みに活かすなどの活動に寄与する。

②専門アドバイザーによる相談事業

地域で活動する団体や個人から寄せられる男女共同参画の各分野に関する相談に対し、専門アドバイザーが課題解決のための助言・講座等を実施する。

事業の効果

地域で活動する女性団体等や個人が抱える課題等に対して、専門的知見を有する専門家による助言を受けることで、活動内容のさらなる発展が期待され、本県の官民連携による男女共同参画の取り組みが強力に推進されていくことが期待できる。

目的・目標

目的: 地域で活動する女性団体等や個人が抱える課題等に対して、専門的知見を有する専門家による多面的な助言を受けることで、活動内容のさらなる発展を期待し、本県の官民連携による男女共同参画の取り組みが強力に推進されていくことを目的とする。

目標: 専門人材による助言の回数 100件(R5)

連携団体

- 国立女性教育会館
- 山梨大学
- 山梨県立大学
- 都留文科大学
- 山梨県県立男女共同参画推進センター

今後の課題

相談の依頼があるものの、アドバイザーの都合がつかずに依頼を断る例が複数あったため、人選や設置人数などを検討し、依頼に対応できる体制作りを行う必要がある。

事業の概要

●事業内容:①統括アドバイザーによる交流サロン

萩原なつ子統括アドバイザーを講師に、公募による参加者や県内各地域に出向いて講演やワークショップによる「交流サロン」を実施。その場で出されたアイデアや具体的な提案に統括アドバイザーが助言を行い、参加者自らが地域での取り組みに活かすなどの活動に寄与する。

②専門アドバイザーによる相談事業

地域で活動する団体や個人から寄せられる男女共同参画の各分野に関する相談に対し、専門アドバイザーが課題解決のための助言・講座等を実施する。

●対象：NPO法人、大学サークル、社会福祉法人、市町村男女共同参画推進委員会等、地域で活動する団体や個人

●専門人材:チラシのとおり

●実績: 交流サロン 17回開催 専門アドバイザーによる相談事業 13回開催

男女共同参画のお悩みに 専門家がお答えします！

自治会役員に女性を増やしたいが、どうしていいかわからない。
DVを苦に人たにもっと知ってもらいたいのにどうしていいかわからない。
・・・など「男女共同参画のお悩み」はありますか？

県では、団体や地域の相談に専門家に対応し、男女共同参画の取組みを支援しています。

```

graph TD
    A[自治会役員に女性を増やしたいが、どうしていいかわからない。DVを苦に人たにもっと知ってもらいたいのにどうしていいかわからない。...など「男女共同参画のお悩み」はありますか？] --> B[地域・家庭へ]
    A --> C[健康 アンコンサスバイス]
    A --> D[解決へのヒント]
    B --> E[LGBTQ]
    B --> F[女性のエンパワメント]
    C --> G[「びゅあ」に問い合わせ & 申し込み]
    D --> H[「びゅあ」が専門人材をコーディネートします]
    D --> I[「びゅあ」が専門家を派遣します]
    E --> J[男女共同参画・共生社会推進に関するお悩み・ご相談]
    F --> K[「びゅあ」が専門人材をコーディネートします]
    G --> L[「びゅあ」が専門家を派遣します]
    H --> M[専門家があなたのところへうかがって相談に乗り、課題解決のために一緒に考えます。]
    I --> M
    
```

Q：費用の負担はありますか？
A：講師の謝金や旅費の負担はありません。

Q：どんな組織でいんですか？
A：男女共同参画に関しても幅広く助言できる人材がご対応します。裏面をご確認ください。

Q：活用事例をお教えてください。
A：女性の権利について学びたい！
ジェンダー教育のために行きたいのか？
まの活性化のためにできることは何か？ （令和4年度実績から）

多様な専門人材！

〔五十音順〕

ジェンダー平等

池田 政子さん 山形県立大学 名誉教授

女性リーダー

加藤 敦子さん 都留文科大 学長

キャリア形成

鴨川 明子さん 山形県大 准教授

地域活動

栗田 真司さん 山形大学大学院 教授

LGBTQ

富永 貴公さん 都留文科大 准教授

女性のエンパワメント

広岡 守徳さん 中央大 名誉教授

DV・性の健康

伏見 正江さん 山形県立大学 名誉教授 助産師
リフレインコーディネーター
やまな女性ヘルスケアネットワーク代表

※お問い合わせ先
山形県男女共同参画推進センター
TEL 055-226-0826
E-mail : fuyura-rkb
@pref.yamanashi.lg.jp



山梨県男女共同参画・共生社会 推進統括アドバイザー 萩原 なつ子氏

(現職)

独立行政法人 国立女性教育会館理事長(R4.4 月～)

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター代表理事

山梨県男女共同参画・共生社会推進統括アドバイザー

(R4年度 山梨県知事より委嘱) 立教大学名誉教授

(経歴)

山梨県出身。広告代理店勤務、(財)トヨタ財団アソシエイト・プログラムオフィサー、東横学園女子短期大学助教授、宮城県環境生活部次長、武蔵工業大学助教授、立教大学社会学部／大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授(R4.3月定年退職)等を経て、現職。

内閣府男女共同参画推進連携会議議員、中央環境審議会委員、産業構造審議会委員、文部科学省中央教育審議会委員、内閣府「栄典に関する有識者」、内閣府休眠預金等活用審議会委員等を歴任。

大学で教鞭をとる傍ら、女性にやさしいまちづくりをめざした「としま 100 人女子会」や消滅可能性都市と言われた東京都豊島区の再生に向けて区が立ち上げた「としま F1会議」の座長を務めるなど、広範なネットワークを生かして、ユニークで斬新な事業を全国各地で仕掛けている。